

# 第86期 上半期のご報告

平成20年4月1日～平成20年9月30日



写真提供: JAXA

## ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第86期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）のご報告をするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループの事業につきましては、事業の再構築により昨年10月から、油化・化成・化薬・食品を基幹4事業、ライフサイエンス・DDS・機能フィルムを新規3事業、そして電材を新規開発事業と位置づけた8事業体制で事業を展開しております。

当上半期は「2010中期経営計画」の初年度前半にあたりますが、当年度通年における目標値の達成とそれ以降の持続的成長のための確固たる基盤構築にグループをあげて取り組みました。

特に注力いたしましたのは、今後育成すべき大型商品として選定しました重点商品の積極的拡販および当社がこれまで培ってきた固有技術に立脚した新製品の市場開拓であります。その一例を申し上げますと、売上が好調に推移しているDDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料について、GMP（医薬品製造管理・品質管理基準）対応のDDS工場の生産能力を更に増強すると共に、欧米における営業力、技術サービス力を強化するための取り組みを進めました。また、電子材料については、当社の独自技術による熱可塑性グラフトポリマーを用いた高周波基板材料の特性の高い評価から、UHF帯RFIDタグ（無線ICタグ）の実用化に向けた開発を積極的に進めております。

国内の景気は、欧米における金融不安の高まりや株式・為替市場の混乱、原油価格の動向など国内外経済に不安定な影響を与える要因のため、さらに減速するリスクを抱えており予断を許しません。当社グループといたしましては、経営のあらゆる面にわたって改革の手を緩めず業績の向上に努めてまいります。また、事業の基盤をなす安全の確保、環境の保全、品質管理の徹底に加えて、コンプライアンスの強化を含む内部統制システムの一層の充実を図り、企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
中嶋 洋平



代表取締役社長  
大池 弘一

## 事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、世界的な金融不安の高まりや資源・食料価格の高騰など、国内外経済に影響を与える不安定な要因のため、個人消費はおおむね横這いとなりました。一方、生産、設備投資、輸出、企業収益はいずれも減少傾向を示すなど景気の減速感が鮮明になりつつあります。

当社グループを取り巻く事業環境については、石化原燃料や天然油脂原料が高騰する中、国内外における企業間競争はなお激しいものとなっております。

このような厳しい事業環境のもとで、当社グループは、事業基盤をさらに強化するため、2008年度を初年度とする3ヵ年計画「2010中期経営計画」を指針として、売上の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

基幹事業については、高付加価値製品の拡販および原燃料の高騰に対する適正な価格は正に注力する一方、更なる生産コストの低減に努め、収益基盤の維持強化を図ってまいりました。特に、高機能潤滑油、トナー用ワックス、化粧品基剤およびその配合品、エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体、高機能エラストマー、医療栄養食などについて重点的に市場開拓を進めました。

新規事業・開発事業については、市場開発・研究開発体制の強化を行うとともに、生産設備の増強を実施してまいりました。特に、DDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料は世界的認知も拡がってきており、その需要に対応するため、現在、DDS工場の生産能力増強を進めております。また、ライフサイエンス関連では生体適合素材MPC（2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン）のモノマーおよびポリマーの拡販に注力したほか、電子材料関連では液晶表示用カラーフィルター関連材料を重点的に拡販しました。

以上のような経営努力を積み重ねてまいりました結果、当上半期の連結売上高は、808億2千万円と前年同期比6.2%の増収となりましたが、石化原燃料や天然油脂原料の高騰の影響を受け、連結経常利益は、44億3千6百万円と前年同期比23.0%の減益、連結純利益は、33億2千1百万円と前年同期比5.0%の減益となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきます。

当社グループの事業は、事業セグメントとしては、4分類としております。

以下、各事業セグメントの概況についてご説明申し上げます。

### 【油脂製品事業】

油脂製品事業の連結売上高は、346億1千4百万円と前年同期比13.4%の増収となりましたが、石化原燃料や天然油脂原料価格の高騰に対し、市場での競合や価格は正のタイムラグの影響などにより、製品価格に十分反映できず、連結営業損失7千万円となりました。

脂肪酸、脂肪酸誘導体、界面活性剤は、製品価格の是正に努めました。脂肪酸誘導体は、これまで重点的に市場開拓を進めてまいりました高機能潤滑油やトナー用ワックスの拡販の進展により、また、界面活性剤は、化粧品基剤およびその配合品の出荷が好調に推移したことから、いずれも売上高は増加しました。

食用加工油脂は、拡販と製品価格の是正に努め、主力製品である製菓・製パン用マーガリンを中心に売上高が増加しました。また、機能食品関連製品は、医療栄養食、健康関連製品とも売上高は増加しました。

## 【化成製品事業】

化成製品事業の連結売上高は、312億8千1百万円と前年同期並み（0.2%増）となりましたが、石化原燃料価格の高騰の影響を受け、製品価格是正を進めたものの連結営業利益は、32億6千7百万円と前年同期比17.8%の減益となりました。

有機過酸化物は、製品価格の是正に努めたことや品種構成の影響により売上高は増加しました。

エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド誘導体は、製品価格の是正に努めたほか、独自技術を生かした高機能製品を基礎化粧品分野、電子材料分野および医薬原料分野で積極的に展開を図ったことにより、売上高は増加しました。

生体適合素材であるMPC関連製品は、MPCが持つ保湿性と皮膚および毛髪保護効果の認知が進み、化粧品用途の出荷が伸びました。また、スキンケア市場向けにMPCモノマーの出荷が増えたことおよび医薬市場向けに手指消毒剤の出荷が順調に推移したことから、売上高は増加しました。

DDS医薬用製剤原料については、当社固有の合成・精製技術を用いた原薬修飾用ポリエチレングリコール誘導体が、当社DDS工場の安定した稼働や欧米における営業力、技術サービス力を評価されたことなどにより、売上高は増加しました。

機能性フィルムは、薄型大画面テレビ用途での製品価格下落や取引先の事業再編の影響により、売上高は減少しました。

電子材料については、液晶表示用カラーフィルター関連材料を中心に市場展開を進めた結果、売上高は増加しました。また、当社独自技術による熱可塑性グラフトポリマーを用いたUHF帯RFIDタグ（無線ICタグ）の実用化に向けた開発を積極的に進めております。

特殊防錆処理剤・防錆加工については、自動車部品業界の需要は堅調に推移したものの、為替の影響により売上高は減少しました。また、環境対応型防錆処理剤「ジオメット®」の市場定着は着実に進んでおります。

## 【火薬・加工品事業】

火薬・加工品事業の連結売上高は、143億6千9百万円と前年同期比4.0%の増収となりましたが、原材料の値上がりなどの影響を受け、連結営業利益は、7億3千9百万円と前年同期比14.6%の減益となりました。

産業用爆薬類は、土木工事関連業界の需要が減少したものの製品価格の是正に努めたことにより、売上高は増加しました。

ロケット関連製品は、ロケットの打ち上げ数が昨年より少なかったことにより売上高は減少しました。

防衛関連製品は、当上半期に出荷が集中したことから、売上高は増加しました。

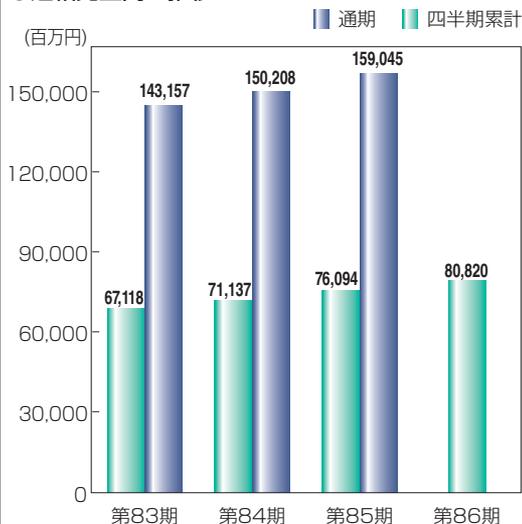
また、自動車用安全部品は、シートベルト用ガス発生剤の拡販を着実に進めたほか、エアバッグ向けインフレーター用ガス発生剤や点火装置の出荷増もあり、売上高は増加しました。

## 【その他の事業】

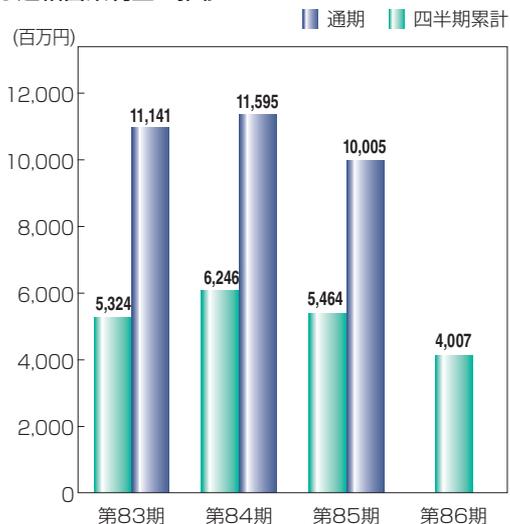
その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その連結売上高は、5億5千4百万円と前年同期比5.0%の増収、連結営業利益は、5千5百万円と前年同期比67.7%の増益となりました。

## 連結業績の推移

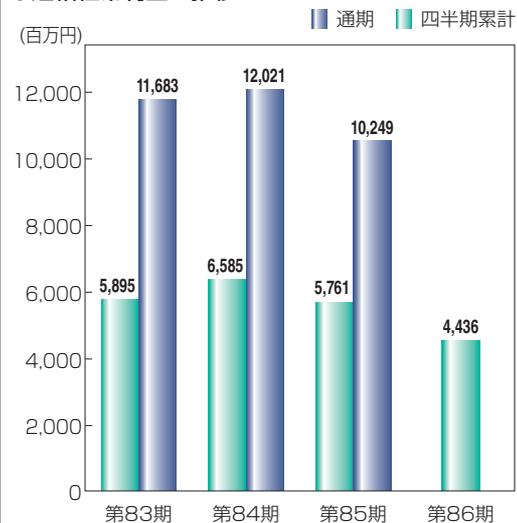
### ●連結売上高の推移



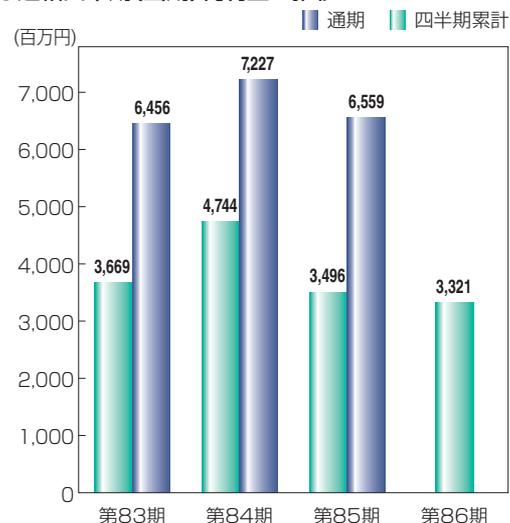
### ●連結営業利益の推移



### ●連結経常利益の推移



### ●連結四半期(当期)純利益の推移



## 第2四半期連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期会計期間末 平成20年9月30日現在	前連結会計年度末 平成20年3月31日現在	科 目	当第2四半期会計期間末 平成20年9月30日現在	前連結会計年度末 平成20年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	75,331	72,025	流動負債	60,452	53,324
現金及び預金	6,998	10,029	支払手形及び買掛金	25,850	24,815
受取手形及び売掛金	32,067	28,999	短期借入金	20,973	14,748
たな卸資産	32,862	29,267	未払法人税等	1,701	1,471
繰延税金資産	1,719	1,766	未払費用	2,724	3,007
その他	1,684	1,962	賞与引当金	2,633	2,581
固定資産	105,086	106,747	その他	6,568	6,698
有形固定資産	62,378	62,878	固定負債	23,697	29,929
建物及び構築物	23,541	24,185	長期借入金	9,067	14,282
機械装置及び運搬具	14,528	15,783	繰延税金負債	10,242	11,175
土地	19,352	19,386	退職給付引当金	3,583	3,610
その他	4,955	3,522	その他	802	860
無形固定資産	2,409	3,018	負債合計	84,149	83,253
投資その他の資産	40,298	40,850	(純資産の部)		
投資有価証券	31,517	31,164	株主資本	83,925	83,444
繰延税金資産	347	1,399	資本金	17,742	17,742
その他	8,433	8,285	資本剰余金	15,113	15,113
			利益剰余金	53,099	52,189
			自己株式	△ 2,028	△ 1,600
			評価・換算差額等	8,552	8,296
			その他有価証券評価差額金	8,515	8,257
			為替換算調整勘定	37	39
			少数株主持分	3,789	3,778
			純資産合計	96,267	95,519
資産合計	180,417	178,772	負債・純資産合計	180,417	178,772

## 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成20年 4 月 1 日から 平成20年 9 月 30 日まで	参考 前年中間期 平成19年 4 月 1 日から 平成19年 9 月 30 日まで
売上高	80,820	76,094
売上原価	61,943	56,771
売上総利益	18,877	19,322
販売費及び一般管理費	14,869	13,858
営業利益	4,007	5,464
営業外収益	913	928
受取利息及び受取配当金	453	499
その他の	459	428
営業外費用	484	630
支払利息	217	208
その他の	267	422
経常利益	4,436	5,761
特別利益	1,212	119
特別損失	365	147
税金等調整前四半期(中間)純利益	5,283	5,734
法人税等	1,837	2,107
少数株主利益	125	130
四半期(中間)純利益	3,321	3,496

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成20年 4 月 1 日から 平成20年 9 月 30 日まで	参考 前年中間期 平成19年 4 月 1 日から 平成19年 9 月 30 日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	90	6,795
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,777	△ 5,686
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,659	△ 1,059
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	263	166
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 3,082	216
VI 現金及び現金同等物期首残高	9,954	7,719
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	598
VIII 現金及び現金同等物四半期(中間)末残高	6,871	8,534

※財務諸表作成にあたって、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。本紙に記載いたしました前年同期比較にかかる分析は、参考として記載したものです。

### (連結決算対象会社)

日本工機株式会社

日油技研工業株式会社

株式会社日本ダクロシャムロック

北海道日油株式会社

日油商事株式会社

株式会社ジャベックス

油化産業株式会社 ほか

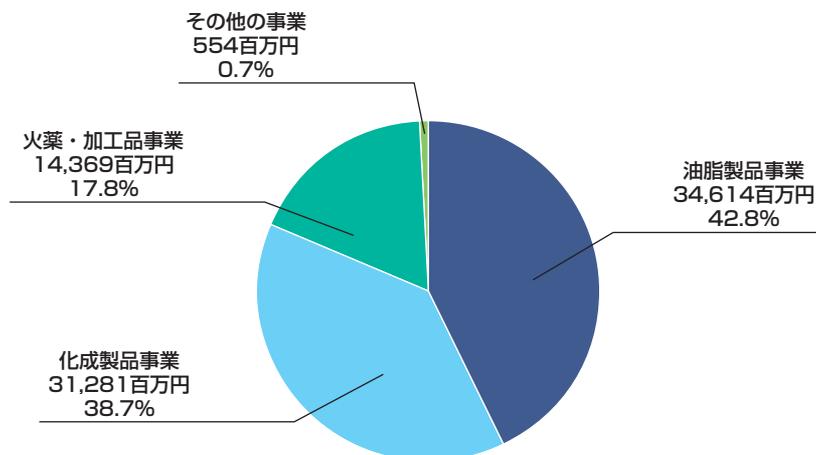
連結子会社数：24社（上記7社を含む）

持分法適用会社数：2社

## 主要な事業内容 (平成20年9月30日現在)

事業名	主要製品
油脂製品事業	脂肪酸（脂肪酸、グリセリン） 脂肪酸誘導体（脂肪酸誘導体、金属石鹼、合成樹脂・合成ゴム用助剤） 界面活性剤（界面活性剤、化粧品用原料） 食用加工油脂（マーガリン、ショートニング、製菓改良脂） 機能食品（医療栄養食、機能性食品素材、マイクロカプセル品）
化成製品事業	有機過酸化合物 ポリブテン（ポリブテン、無臭溶剤） 無水マレイン酸 機能性ポリマー エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体 MPC関連製品（MPCモノマー・ポリマー、診断薬添加剤） DDS医薬用製剤原料（修飾剤、リン脂質、医薬用界面活性剤） 機能性フィルム 電子材料（液晶表示関連材料、高周波基板関連材料） 特殊防錆処理剤・防錆加工
火薬・加工品事業	産業用爆薬類 防衛関連製品 ロケット関連製品 医療関連製品 防犯用関連製品 自動車用安全部品 海洋機器 インジケータ関連製品 金属加工品
その他の事業	運送 不動産

## 事業セグメント別売上高 (第86期第2四半期)



## 会社の概要 (平成20年9月30日現在)

商号 日油株式会社  
(英文 NOF CORPORATION)

創立 昭和12年6月1日  
 設立 昭和24年7月1日

資本金 17,742,010,494円

事業所  
(本社) 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号  
(支社・支店) 大阪支社(大阪府)、名古屋支店(愛知県)、福岡支店(福岡県)  
(工場) 尼崎工場(兵庫県)、川崎事業所〔千鳥工場・大師工場・DDS工場〕(神奈川県)、  
 大分工場(大分県)、愛知事業所〔衣浦工場・武豊工場・機能フィルム工場〕(愛知県)  
(研究所) 筑波研究所(茨城県)、油化学研究所(兵庫県)、化成研究所(愛知県)、  
 食品研究所(神奈川県)、DDS研究所(神奈川県)、機能フィルム研究所(愛知県)

## 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数 783,828,000株

発行済株式の総数 199,682,752株

(注)平成20年9月に実施した自己株式消却により発行済株式の総数は2,000,000株減少しております。

株主数 30,424名

大株主の状況 (上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
株式会社みずほコーポレート銀行	8,646	4.33
株式会社損害保険ジャパン	8,264	4.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,203	3.10
明治安田生命保険相互会社	5,775	2.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	5,105	2.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,616	2.31
新日鉱ホールディングス株式会社	4,609	2.30
みずほ信託銀行株式会社	4,232	2.11
日油株式会社	3,952	1.97
日油親栄会	3,549	1.77

所有者別株式分布状況

区分	株主数	比率	株式数	比率
	名	%	株	%
政府および地方公共団体	—	—	—	—
金融機関	66	0.22	64,981,437	32.54
証券会社	82	0.27	1,992,796	1.00
その他の国内法人	489	1.61	43,323,980	21.70
外国法人等	126	0.42	21,296,581	10.66
個人その他	29,659	97.48	64,121,570	32.11
自己名義株式その他	2	0.00	3,966,388	1.99
合計	30,424	100.00	199,682,752	100.00

## 役員 (平成20年9月30日現在)

### 取締役および監査役

\*代表取締役会長

\*代表取締役社長

\*取締役

\*取締役

\*取締役

\*取締役

\*取締役

\*取締役

常勤監査役

監査役 (みずほトラスト保証株式会社代表取締役社長)

監査役 (太平洋セメント株式会社監査役)

中嶋洋平	嶋	洋	平
大池弘一	池	弘	一
稲葉由大	葉	由	大
大井弘雄	井	弘	雄
大坪啓男	坪		啓男
杳澤逸男	澤	逸	男
小西周志	西	周	志
服部裕明	部		裕明
小川高之	川	高	之
小寺正之	寺	正	之
高野惇	野		惇

- (注) 1. 監査役小寺正之および監査役高野 惇の両氏は、会社法に定める社外監査役であります。  
2. \*印の取締役は執行役員を兼務しております。

### 執行役員

会長執行役員

社長執行役員

常務執行役員 (設備・環境安全統括室長、システム部門、知的財産部門管掌)

常務執行役員 (ライフサイエンス部門、経理部門、資材部門管掌)

常務執行役員 (化成事業部長、中国プロジェクト本部長、機能フィルム部門、電材事業開発部門管掌)

常務執行役員 (化薬部門、人事・総務部門管掌)

常務執行役員 (防錆部門長)

常務執行役員 (油化部門、D D S 部門、経営企画部門管掌)

執行役員 (資材部長)

執行役員 (内部統制室長)

執行役員 (大阪支社長)

執行役員 (経営企画室長)

執行役員 (機能フィルム事業部長)

執行役員 (研究本部長、筑波研究所長)

執行役員 (D D S 事業部長)

執行役員 (油化事業部長)

執行役員 (知的財産部長)

執行役員 (ライフサイエンス事業部長)

執行役員 (電材事業開発部長)

執行役員 (食品事業部長)

執行役員 (化薬事業部長)

中嶋洋平	嶋	洋	平
大池弘一	池	弘	一
稲葉由大	葉	由	大
大井弘雄	井	弘	雄
杳澤逸男	澤	逸	男
小西周志	西	周	志
鈴木重雄	木	重	雄
服部裕明	部		裕明
浅沼毅夫	沼		毅夫
石川和夫	川	和	夫
上田直樹	田	直	樹
大坪啓男	坪		啓男
後藤義隆	藤	義	隆
小橋仁治	橋	仁	治
小林明治	林	明	治
高橋不二夫	橋	不	二夫
早崎泰三	崎	泰	三
伏見順三	見	順	三
森屋泰夫	屋	泰	夫
山田直道	田	直	道
山本昭飛己	本	昭	飛己

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL ( <a href="http://www.nof.co.jp/">http://www.nof.co.jp/</a> )
1単元の株式数	1,000株

## 株券電子化に伴う株式事務の変更

平成21年1月より株券が電子化されます。お持ちの株式の状況により、お手続きについて下記のとおりとなりますのでご注意ください。

表1	株式の状況	①株券をお持ちの場合 ②株券を不所持にされていた場合 ③単元未満株券をお持ちの場合	
	取扱期間	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
	郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	電話お問い合わせ先	0120-288-324 (変更ありません)	
	取扱業務	名義書換 住所変更 氏名・名称・代表者変更 相続 届出印変更 配当金振込指定 単元未満株式の買取・買増 未払配当金の支払 支払明細発行 株式異動状況等証明発行 株券交付・株券喪失登録等	自己名義振替口座への振替 住所変更 氏名・名称・代表者変更 相続 届出印変更 配当金振込指定(注1) 単元未満株式の買取・買増 未払配当金の支払 支払明細発行 株式異動状況等証明発行
取次所	【株主名簿管理人取次所】 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	【特別口座管理機関取次所】 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	

表2	株式の状況	証券会社の口座を開設して株式を預託されていた場合	
	取扱期間	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
	郵便物送付先	お取引の証券会社になります	
	電話お問い合わせ先		
取扱業務	未払配当金の支払、支払明細発行以外の全ての業務(注2)		

注1 配当金振込指定のうち、株数比例配分方式については、表2の「お取引の証券会社」の取扱業務となります。

注2 未払配当金の支払、支払明細書発行は、表1の取次所をご利用ください。

## 単元未満株式買増制度のご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を実施しております。

1 単元（1,000株）に満たない株式をご所有の株主様は、ご所有の単元未満株式と併せて1 単元になる株式を買増請求することができます。ただし、株券電子化に伴う事務手続の都合上、下記の期間は受付ができませんのでご注意ください。

- (1) 単元未満株式を株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）に預託していない場合  
平成20年12月12日（金）から平成21年1月25日（日）
- (2) 単元未満株式を機構に預託している場合  
平成20年12月12日（金）から平成21年1月4日（日）（1月5日以降の事務手続については、証券会社により日程が異なりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。）

単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたしておりますが、上記の理由により下記の期間は受付ができません。

- (1) 単元未満株式を機構に預託していない場合  
平成20年12月25日（木）から平成21年1月25日（日）
- (2) 単元未満株式を機構に預託している場合  
平成20年12月25日（木）から平成21年1月4日（日）（1月5日以降の事務手続については、証券会社により日程が異なりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。）

当社は、インターネットのホームページにて、決算計算書類、決算短信など最新のIR情報を提供しております。

アドレスは、<http://www.nof.co.jp/>です。

※ 四半期報告制度の導入に伴い、今期から本報告書の名称を従来の「中間報告書」から「上半期のご報告」に変更しております。

 **NOF CORPORATION**



環境にやさしく……本紙は再生紙を使用しております。